

「ひとが人として認めあい、ともに育つ地域社会」

創刊号  
男女共同参画広報紙

# は〜とふる 日光

女の子も男の子も みんなで受け継ぐ社会へ

栗山



栗山地区では、獅子舞とは“男のやること”として今でも多くの地区で継承されています。

しかし、そんな男だけの世界であった伝統芸能を日向地区では、研究発表で獅子舞を「子どもたちに踊らせた」という学校側の要請と、日向若衆の「後継者を育てたい」という目的が一致し、子供獅子舞が行われることになりました。

保護者が衣装造りから始め、練習は学校の課外授業を利用し、夜は若衆が直接指導してくれました。1年生から6年生までが、女の子も男の子も関係なく猛練習をかさね、9月の地元の八朔祭（はっさくさい）でも披露し、涙を誘うほどの出来栄でした。現在では、日向小の廃校により日向子供育成会で小学生から中学生までが一緒になって受け継いでいます。



男の世界であった獅子舞を、この子供獅子舞をきっかけに、女の子にも地域の伝統文化として触れてもらい、大人になっても男女お互いに理解し合いながら、それぞれが活躍できる地域社会づくりを目指し、これからも継続して頂きたいと思います。

〈取材：山越 仁 斎藤春美〉



# 新市長に聞く 男女共同参画社会づくり



この春、5つの市町村が合併し、新しい日光市が誕生しました。新市長として、斎藤文夫市長が就任し、半年が経過したところです。

新しいまちづくりを進めていく上で、男女共同参画の推進は重要であるとお考えの斎藤市長に「はーとふる日光」創刊を記念して、新市の“男女共同参画社会づくり”についていくつかお聞きしました。

市長

Q

A

&

への

Q1

男女共同参画を実現するための具体的施策について、どのようにお考えですか？

これまでは、各地域（今市・日光・藤原・足尾・栗山）において、その地域にあった施策を推進してきましたが、具体的施策を進めていくためには男女共同参画社会づくりに取り組むための指針、つまり計画（プラン）が必要であると考えております。合併前には、今市と日光にそれぞれ独自のプランがありましたが、新しい日光市の現状に則した、実効性のあるプランを策定いたします。そして、あらゆる分野に男女共同参画の視点を反映させつつ、地域づくりを進めていくという意味を内外に発信し、市民の皆さまと行政とが一体となった男女共同参画社会づくりを進めていきたいと考えています。

Q2

男女共同参画の推進に関するプラン（計画）を策定していく際のプロセスについて、どのようにお考えですか？

男女共同参画に関するプランの策定につきましては、今年7月に市内の各地域やあらゆる分野の方々、さらに公募による委員からなる「プラン策定委員会」を設置し、現在検討しているところです。

設置後数ヶ月ではありますが、それぞれの立場や周りの状況、時代背景などから様々な意見を建設的に出し合い、とても熱心に取り組んでおります。そこでは日光市における現状や課題などを拾い上げるために「男女共同参画に関するアンケート」を実施し、その実態を分析してプランに取り入れてまいります。

策定委員会においてプランの素案ができましたら、パブリックコメントを実施し、市民の皆様のご意見を聞くとともに、プラン策定をPRしてまいりたいと考えています。その間、日光市男女共同参画社会づくり市民会議や市役所内部に組織した「男女共同参画推進本部」で検討を重ね、市民の皆さま一人ひとりが自らの問題として主体的に取り組んでいけるようなプランを、平成19年度中に策定いたします。これにより、着実な施策の推進が総合的に図られるものと考えております。

Q3

身近なところで男女参画はまだまだと思われることはありますか？

地域の自治会長に女性が少ないことや、家事や育児・介護が、女性の役割であると思われている場面にあうなど、例をあげればきりがありません。市民の皆さまが個々として、男女共同参画に対する関心や重要性をもっともっと持っていただければ、と何よりも感じております。





## エンジョイ ハッピーライフ

ある週末、足尾地区で小さな地区独自のお祭りがありました。そこに仲良く参加していた下妻さんご夫妻を取材しました。



▲地区のおまつりにも夫婦仲良く参加で

## 夫婦の分かち合い

### 夫の愿さんに

若い時は仕事中心でよく働いたけれども子どもともよく遊んでやったね。共稼ぎになってからは、料理、ゴミだしなど積極的にやるようになったし……。そのへんは心がけています。

### 妻の文子さんに

休みの日は夫と二人で食料品をまとめ買いに行きます。献立を考えながら買い物をするのは大変だけれども楽しくもあります。夫も手伝ってくれます。些細なことかもしれませんが、ありがたいですね。

### お二人に

最近スーパーでは男性客が多く見られます。若いカップル、子ども連れの家族、老夫婦。いろいろな人達が楽しそうに食材選びをしています。食べ物の山にかこまれると、人々は実に平和で穏やかな顔になるのですね。話し声で幸せを感じます。

### 仲良く暮らす秘訣は？

「俺の忍の一字です」と夫の愿さん。「ハイそのとおりです」と答える文子さん。でも、こっそり教えてくれました。夫の一番良いところは、細かく干渉しないことです。そのおかげでストレスを抱え込むことなく仕事ができ、経済的な自立もできて、充実感がもてました。



夫婦一緒に地域の事業にも積極的に参加し、お互いを理解し、いたわりあう。このようなご夫婦が増えていけば、男女の差別のない社会が実現するでしょう。いつまでもお元気で仲良くみんなのお手本になってください。

（取材：高草木テル子 石井セツ）

### 男女共同参画課

平成18年3月の合併に伴い、市民と行政が協働で男女共同参画社会づくりを推進していくため、企画部に「男女共同参画課」が誕生しました。

男女共同参画社会づくりの実現を目指し、プランの策定や男女共同参画に関する様々な事業を実施していきますので、みなさまのご協力よろしくお願いたします。



誕生しました

### 男女共同参画社会づくり市民会議

市民と行政が一体となって、男女共同参画社会づくりを効果的に推進していくため、各種関係団体及び公募の委員30名により7月1日市民会議を設置しました。

今後、男女共同参画社会づくりのための施策の推進や基本計画の策定等男女共同参画に関する事項の調査・研究を行っていく予定です。



現代っ子はどんな意識や感覚を持っているの？

学校ではどんな教え方をしているの？

# いまどきの男女共同参画教育

☆ 学校では、男女共同参画をどのように捉えているのでしょうか？  
日光中学校の生徒会の方と先生方にお聞きしました。



## □生徒さんにお聞きしました〈生徒会代表:女子3名、男子1名〉

〈女子に聞きました〉自分が女性だと強く感じる時はどんな時ですか  
考え込む性格、部屋の雰囲気、出かける時服装選びなどで時間がかかる時です。

〈男子に聞きました〉自分が男性だと強く感じる時はどんな時ですか  
重いものを持ったり、力仕事をする時などです。

今度生まれてくるなら男女どちらがいいですか

〔女子〕男性です。(2名) 女性です。(1名)

〔男子〕おしゃれができるから女性です。

家庭で男女の違いのことで話すこと(言われること)はありますか

〔女子〕兄と比べて、「女の子なのだから、整理整頓をきちんとしなさい」などと言われます。

家でお手伝いはしていますか

〔女子〕食事の用意(調理や食器の運搬)や食器洗い、洗濯物の取込などをやります。

〔男子〕皿洗いや荷物運びをしています。

## □先生にお聞きしました〈男性教諭3名(校長先生含む) 女性教諭1名〉

男女共同参画の教育はどのように行っていますか

3年の社会科、公民で男女共同参画社会基本法、雇用機会均等法を教える中に行っています。また、道徳では異性について、担任が行っています。

男女混合名簿について、どう思いますか

当たり前になってきているので、特に気になりませんし不便や疑問も感じていません。

進学指導は男女どのような指導をしていますか

男女の区別はせず、平等に行っています。

P T A活動についての参加状況はいかがですか

どちらが出席しても良いのですが、現実的には父親より母親の方が多いようです。男性保護者への参加については、特に配慮はしていませんし、保護者からの要望も特にありません。



## 最後に・・・「女らしさ」、「男らしさ」という言葉を使うことをどう思いますか

〔生徒〕時と場合によります。全くいけないことではないと思います。

〔先生〕時と場所によります。信頼関係がなければ言えない部分もあるのではないのでしょうか。

生徒さんたちは、まだそれほど大きな壁にぶつからず、のびのび生活しているように感じられました。これから社会に出ていろいろな経験をしたいと思います。ここでしっかりした自分自身の考えを培えるように、先生方のご指導を是非お願いします！

ご協力、ありがとうございました。

〈取材:毛塚 博子 小日向 智〉



運動会予行演習 (ほとんどが男女混合競技)



# 三人の思い、未来に届け！

今市地域では、以前から「男女共同参画社会づくり」に関わりをもち、実践されている森山さんご夫妻に、「男女共同参画」について話を伺いました。



森山良一さんと妻の勝子さん

## 参加したきっかけ〈勝子さん〉

県の女性指導者研修からの流れから、気持ちのあった人と集まり、男女共同参画について勉強しようと「この指とまれ」という勉強会を始めたのがきっかけでした。

その後、各地区に出向いて話し合いを持つ「ミニ集会」を開催し、活動を展開していましたが、もっとわかりやすく表現しようとミニ劇場（寸劇）をつくり、様々な集まりで観てもらいました。特に農業関係者の集まりにおいては、「家族経営協定」についての寸劇をつくり、会場全体で話し合いができるよう工夫し、好評を得ました。

## 昔と今〈勝子さん〉

以前は、女性だけの会議で何かを頼むと「家に帰って主人に聞いてみないとわからない」という方が多かったのが、今ではその場で返事をくれるようになってきました。

また、旧今市市において、平成11年に女性で私がはじめて農業委員に任命されました。その後、女性農業委員が必ず任命されるのも大きな変化だと思います。さらに役所や職場でも、女性の役職者の割合が増え、男女に関わらず特性を発揮できることは良いことだと思います。



杉並木大学の校長を務める良一さん



日光女性大学や農業体験教室（日光キッズクラブ）で活躍する勝子さん

## 私たちの男女共同参画〈良一さん〉

私たちの場合、家業の農業も家事についてもお互いの協力が必要です。言われなくても、お互いの気持ち、やる事がわかるようになり、やる事が当たり前になっています。

世代の違いや習慣もあるでしょうが、家の中にいるとわからない部分が多いです。社会に参加する事で勉強になり、生き方が学べていいと思います。

## お二人の思い

**良一さんは、**

男女共同参画の推進が当たり前のような、という意識をもっていけば、どんどん広まっていくと思います。

**勝子さんは、**

行政などの委員の人選において女性何名といった枠をつくり、形式だけでの参加は本当の男女共同参画とは言えません。やはり男性の理解が必要だと思います。

今回取材させていただいた森山さんご夫妻。お二人とも、人とのつながり、会話や活動を楽しみながら社会のため、子どもたちのために一生懸命活動されております。

ご夫婦のお互いの理解と協力がなければとても出来る活動ではないと思います。

まさに男女共同参画を実践し、さらに社会に広めている姿はとても輝いているように見えました。

〈取材：川島照子 熊谷圭久 手塚正紀〉





▲踊りの輪には笑顔がいっぱい!

鬼怒川温泉の中心部にある「ふれあい橋」では7月15日から9月3日までの46日間、「鬼怒川温泉ふれあい橋橋上ビアガーデン」が行われました。このイベントは、訪れたお客さまに鬼怒川温泉の良さを知っていただく、楽しんでいただくまちを愛する有志が集まり、平成16年に始まったイベントです。

会場では、地域の人たちが郷土芸能やフラダンス、コーラスなどを披露し、女性も男性も一緒にステージを盛り上げました。

橋の上で咲いた

## ひとひと 女と男の 笑顔の輪!

フィナーレに近づき、「日光和楽踊り」の軽快な太鼓の音とさわやかな歌声が川風に乗って流れると、次第にお客さまが集まってきました。揃いの浴衣の輪に、おじいちゃんやおばあちゃん、学生さん、小さな子どもたち老若男女が笑顔で飛び入り、和楽踊りを楽しみました。

女性・男性がお互いに助け合いながらこのイベントをつくり上げ、盛り上げていく様子を見て、「愛着ある地域社会をつくる活力はこれだ!」と実感しました。それぞれの能力を生かし、支えあう地域社会が笑顔の輪となって、日光市に広がっていくといいですね。

(取材:菅田和子 高梨房子)



▲ステージを盛り上げる勇ましい龍王太鼓

### タイトル「はーとふる日光」の由来

みんながいきいきと輝いて生きる“しあわせ”を感じることに、それが男女共同参画社会づくりそのものです。5つの地域がそれぞれの歴史と文化を引き継ぎながら、平成18年3月20日に新しい「日光市」が誕生しました。新市の人々、誰もが“しあわせ”を感じ、まさに愛があふれるようお願いを込め、名称を「はーとふる日光」にしました。



5つの地域のハート(温かい心)をイメージしました。